



水ときらめき紀の川館に 団体の来館者がありました

流水調整課

H30.4.23

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、大阪府から吹田生活と健康を守る会の皆様が見学に来られ、当事務所から流水調整課長他2名の職員が対応しました。

紀の川大堰の概要説明を聞いていただいたあと魚道までご案内し、この時期一番盛んなアユの遡上を見ていただきました。

たくさんのアユが一生懸命流れをさかのぼる姿を見て「私たちも頑張らなければ！と元気が出てきますね」など口々に話され、皆様の笑顔を見ることができました。また、「こんな大きな堰は初めて見ました」と紀の川大堰のたくましい堰柱に感心されている姿も見られました。

団体見学概要

日時：平成30年4月20日(金)

10:00 ~ 11:15

会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：46名

団体名：吹田生活と健康を守る会(大阪府)



1. 紀の川大堰概要説明

流水調整課長がスライドを用いて、紀の川の概要や、紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

紀の川の歴史などの話しには、うなずきながら熱心に聞かれている姿が見られました。



2. 館外の魚道見学

晴天の中、きらめき館から徒歩3分の魚道に向かいました。

スロープもついており、階段が苦手な方も安心して移動していただけます。



人工河川式魚道の水深が深い場所で、大きなボラやコイが悠々と泳いでいる姿を見て驚かれています。



階段式魚道とデニバチ魚道を上から見ていただき、遠目でもたくさんのアユが泳いでいるのが確認できました。

アユの遡上が最盛期を迎え、魚道観察室では、群れになって泳ぐたくさんのアユを見ることができました。



疑問・質問

Q. (たくさんのアユを見て) 異常に多いように思いますが、養殖しているのですか? 増えすぎると生態系がおかしくなるのではないですか?

A. 紀の川流域では漁協さんなどが毎年数力所でアユの稚魚の放流をしておりますが、養殖しているわけではありません。

確かにここ数年は、アユの遡上数がかなり増えていますが、生態系の異常等は聞いていません。